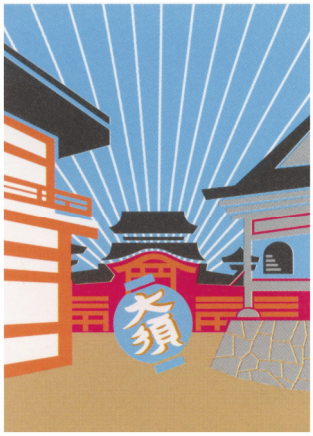


NAGOYA OSU Rotary Club
名古屋大須ロータリークラブ
WEEKLY REPORT No.1696
THE MAGIC OF ROTARY
2024-25年度R.I.会長
ステファニー A.アーチック

＜本年度クラブ会長方針＞
変わる勇気と変える勇気を持ち、
和の心でロータリーの輪を広げよう！

承　認　1985年2月12日　会 長　飯田昭夫　事務局　名古屋市中区栄4-7-10 栄第8ロイヤルビル6F
例会日　木曜日12時30分　幹 事　木村吉伸　電 話 (052)251-0181　FAX (052)251-0337　〒460-0008
例会場　名古屋東急ホテル　URL　http://www.nagoya-osu.org　E-mail　office@nagoya-osu.org

第1975回例会

環境月間
令和7年4月17日(木)
元派遣青少年交換学生卓話
於 名古屋東急ホテル
会員60名
出席計算数
50名中37名出席
出席率 74・00％
前々回出席率 81・63％

例会プログラム
★ヒルウォーキングクラブ秋山行案内
長崎県五島市／9月26日(金)～28日(日) 鬼岳、七ツ岳登山等
ヒルウォーキングクラブ
顧問　尾上　昇
★元派遣青少年交換学生卓話

ロータリーソング
「大須ロータリーソング」
指　揮　者　松本　哲朗
ピアノ伴奏　冨板　玲子

ゲスト
元派遣青少年交換学生
渡辺　彩加さん
（渡辺観永さんご息女）

ニコボックス
渡辺彩加さん、卓話よろしく！
飯田　昭夫
西脇　良輔・河合　誠弥
林　順治・加藤巳千彦
横井　衛・堀江　英弥
渡辺彩加さん、卓話楽しみにしています。堀江さん渡辺さん台湾気をつけていってらっしゃいませ。
木村　吉伸

本日は渡辺彩加がお世話になります。グローバル補助金通りました！
渡辺　観永
ヒルウォーキングクラブ秋の行事五島列島ご一緒しませんか。
尾上　昇
彩加さん、お話楽しみです。夫の誕生月です。
近藤　明美
渡辺彩加さん、卓話、本日は楽しみにしています。
結婚記念月です。
大原　敏正
卓話楽しみです。
髙木　政義
渡辺彩加さん、卓話楽しみです。
鬼頭　茂成
木村　光徳

会長挨拶　会長　飯田　昭夫
こんにちは。今日は、前回に少しお話をしました新聞のコピーに関してです。
自社の記事が新聞に掲載されたときにその記事を社内ネットワークに掲載する行為です。中日新聞と首都圏新都市鉄道との争いが有名です。2005年から2019年度まで東京新聞（発行元中日新聞）に掲載されたつくばエクスプレスや沿線地域についての記事をスキャンして画像データ化し社内ネットワークに掲載した事案です。中日新聞は無断利用されたとして訴訟を提起。一審も二審も記事は著作物と判断。最高裁判所は双方の上告を退け、二審判決（知財高裁）が確定しました。その後、各新聞社が新聞のコピーについての注意喚起を行っています。中部経済新聞に掲載されている我がロータリークラブの記事も対象になりますので注意しましょう。
新聞記事に関しては、20部までは公益社団法人日本複製権センター（JRRC）に登録してあれば自由ですが、中経新聞では、それ以上は会社に連絡を！となっています。侵害にならない方法としては、違法か否かすれすれですが、各部署に新聞1冊ずつ購入し、掲示板に貼っておく、コピーしたい人が勝手にコピーする等がありますが、こういう場所では言えないですね。
ついでに、結婚式場での楽曲利用はどうするかということです。JASRACに直接許諾を求めるのは面倒ですね。そこで、ISUM（アイサム・一般社団法人音楽特定利用促進機構）を通じて利用許諾を得る方法です。結婚式場などで利用されています。ISUMは法人が対象ですが、個人で許諾を得たい場合は、即焼きレスキューを利用してISUMに申請する方法もあります。1曲4,000円ぐらいです。尚、喫茶店・デパート・商品販売所で、家庭用のCDを購入し流すこと、ラジオ体操のCDを購入し会社全体に流す場合は、購入したCDの注意書きに気をつけましょう。会社やお店のBGMはUSENであれば問題ありませんが、「ラジオ体操第一」は㈱かんぽ生命保険へ申請が必要などと複雑です。どこまで守っている人がいるか謎です。
尚、著作者不明の場合には、文化庁長官の裁定を受け通常の使用料に相当する金額を補償金として供託することにより使用できる制度があります。今日の挨拶は注意喚起です。ありがとうございました。

外部卓話
**「学ぶことと生きること
―ミャンマー避難民に関する研究と、現在のプロジェクトから―」**
元派遣青少年交換学生　渡辺　彩加さん

ご紹介に預かりました、渡辺彩加です。名古屋大須RC様での卓話の機会をいただけて、大変光栄です。私は高校生まで名古屋で過

ごし、大分県別府市にあります立命館アジア太平洋大学に進学、卒業しました。その後は京都大学大学院総合生存学館5年一貫制博士課程に進学、2024年に研究指導認定退学をいたしました。現在は、京都大学学際融合教育研究推進センターにて技術補佐員、京都大学東南アジア地域研究研究所にて連携研究員、公益財団法人国際高等研究所にて特任研究員をしております。

ロータリーの青少年奉仕事業は4つありますが、青少年交換留学、ローターアクト、インターアクト、RYLAの4つ全てを経験させていただきました。青少年交換留学では、2010-2011年度に名古屋大須RC様がスポンサークラブ、第9570地区 RC of Port of Mackay 様がホストクラブでオーストラリアへ派遣していただきました。ローターアクトは大分県、京都府、タイで所属、活動しました。RYLAでは愛知県のセミナーだけではなく、スリランカで開催されたセミナー、韓国で開催されたセミナーにも派遣をしていただきました。

私が難民問題に関心を抱き、現在の研究に至るまでには、いくつかの忘れられない出来事がありました。その原点には、ロータリー青少年奉仕事業での貴重な学びがあります。私が小学生の時に、「地雷ではなく花をください」の絵本に出会ったことがきっかけで戦争や平和に関して関心を持つようになりました。私が中学生当時、名古屋大須RCの会員であった神田憲様にお声がけいただき、青少年交換留学に応募をしました。

青少年交換留学

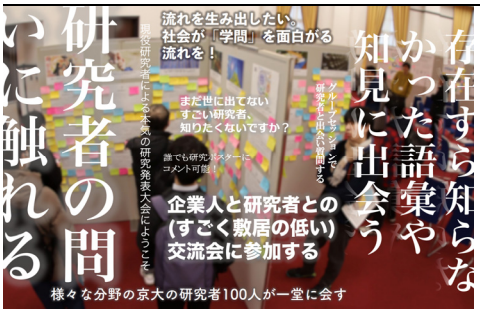
<ロータリー国際親善大使>
- 小・中・高　4校　訪問
- 老人ホーム　慰問
  - 日本舞踊・茶道・折り紙・歌
  - 日本語教室の手伝い
  - 絵手紙交換プロジェクト

オーストラリアでは、ロータリー国際親善大使として学校や老人ホームへの訪問、文化交流などを行いました。しかし、2010年5月に日本とオーストラリアの間で通称「捕鯨裁判」と呼ばれる国際裁判が始まったことをきっかけに、日本人であることを理由にいじめを受けました。幸いにもホストファミリーが学校と相談するなど対応をしてくださり、最終的にはいじめをしてきた子たちとも和解をすることができました。東日本大震災の発生により、当初3月に予定していた帰国は困難になり、帰国は一か月延期になりました。日本に帰国後、震災を経験していないという点で周囲と話がかみ合わないことなどがあり、孤立感を覚えるという経験をしました。それらの二つの経験により、「日本人である」ということを強く意識すると同時に、「震災を経験した」という日本人が持った共通認識を持っていないという負い目を感じるようになりました。それらの経験から「○○人、○○出身」というのは何だろう、と疑問を抱くようになりました。

その後のスリランカや韓国のRYLAでの経験では、積極的に前にでて質問をしようとする人たち、後方で固まって関わろうとしない人達をみて、どうしてこんなにも積極性がことなるのだろうかと不思議に思ったと同時に価値観や文化の違いなどの学びになりました。それらの経験から徐々に難民に関して興味が湧いてきました。

修士課程では、ミャンマーの僧院学校に避難をしている少数民族のこどもに関して調査をしました。この僧院学校には2019年度に名古屋大須RC様が建物の増築費、文房具のご寄附をいただいております。2021年2月に発生した軍事クーデターにより、ミャンマーでの調査継続が困難となったため、調査地をタイに変更しました。クーデターを契機にミャンマーから避難している子どもが求めている教育、実施されている教育に関して調査をしました。現在、論文を執筆中です。ミャンマーで地震がありましたが、元米山生や僧院学校は無事であるという報告を受けております。

現在の仕事の中で特に力を入れている事業は「京大100人論文」とその全国版である「3QUEST-ONS」です。匿名で研究を発表し、匿名でだれでもコメントができるという企画です。研究と社会をつなぐという仕事にやりがいを感じています。東海地区は昨年開催し、研究者だけではなく高校生なども含め250名の方にご来場いただきました。今年度は九州・沖縄、東北、関東、関西で開催予定です。ぜひお近くの際にはお立ち寄りください。



ロータリー青少年奉仕で経験させていただいたこと、そこで私が得た学びはとても大きく、現在の「難民のこどもの教育」という研究テーマと研究と社会をつなぐという仕事に結びついています。様々な経験をさせてくださった名古屋大須RC様に心より感謝を申し上げます。

事務局GW夏期休暇

ガバナー事務所・ガバナーエレクト事務所・ガバナー事務所分室
名古屋大須RC事務局
4月26日(土)～5月6日(火)

5月1日(木) 例会の案内

定款規定により休会(祭日週)

5月8日(木) 例会の案内

SPEAK OUT DAY

公共イメージ向上委員会
横川　誠人
深谷　昭広・小笠原和俊
小澤　幸男・黒岩　麗子

＊本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。